

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は 2018 年日本陸上競技連盟規則及び本大会要項によって実施する。

## 2. 招集について

(1)招集は、全て招集所で行う。(招集所は第 1 ゲート外側に設ける。)

(2)招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。

(3)招集完了時刻に遅れた競技者は、出場を認めない。

但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出ること。

### ○ 招集時間

	招集開始	招集完了
トラック競技	20 分前	10 分前
フィールド競技	30 分前	20 分前

(4)リレーのオーダー用紙は招集完了 1 時間前までに招集所へ提出のこと。(オーダー用紙は TIC にも用意する)

## 3. 競技場への入退場について

(1)入場は、第 1 ゲート(ゴール側)及び 4 第ゲート(100m スタート側)より入場のこと。(選手誘導は行わない)

メインスタンド正面入口からの入場はできない。(役員 ID カード着用者のみとする)

\*更衣室使用の者は TIC で許可証をもらい利用することができる。

(2)退場は下記のとおりとする。

トラック競技・・・フィニッシュ地点から外周・ダックアウト通路を利用し退場のこと。

フィールド競技・・・競技役員の指示・誘導による。

## 4. 競技について

(1)トラック競技

①マスターズは全てタイムレースとし、順位を決定する。

②短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。

③トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。

④全国小学生クロスカントリーリレー大会三重県選考会は、各チーム男子・女子の記録上位 3 名の記録を合算の上最上位のチームを三重県代表とする。

(2)フィールド競技

①マスターズは 4 回の試技で順位を決定する。

(3)その他

①マスターズにおいて、県外参加者は全てオープン参加とする。

②競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

<マスターズ使用基準>

クラス	種目	高さ	間隔	1 台目まで	ゴールまで	台数
M24- M25 M30 M35 M40 M45	110mH	99.1cm	9.14m	13.72m	14.02m	10
M50 M55	100mH	91.4cm	8.50m	13.00m	10.50m	10
M60 M65	100mH	84.0cm	8.00m	12.00m	16.00m	10
M70 M75	80mH	76.2cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
M80 以上	80mH	68.6cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
W24- W25 W30 W35	100mH	84.0cm	8.50m	13.00m	10.50m	10
W40 W45	80mH	76.2cm	8.00m	12.00m	12.00m	8
W50 W55	80mH	76.2cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
W60 以上	80mH	68.6cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
クラス		砲丸・ハンマー	円盤		やり	
男子	M24- M25 M30 M35 M40 M45	7.26kg 以上	2.00kg 以上		最小 800g 以上	
	M50 M55	6.00kg 以上	1.50kg 以上		最小 700g 以上	
	M60 M65	5.00kg 以上	1.00kg 以上		最小 600g 以上	
	M70 M75	4.00kg 以上	1.00kg 以上		最小 500g 以上	
	M80 以上	3.00kg 以上	1.00kg 以上		最小 400g 以上	
女子	W24- W25 W30 W35 W40 W45	4.00kg 以上	1.00kg 以上		最小 600g 以上	
	W50 W55	3.00kg 以上	1.00kg 以上		最小 500g 以上	
	W60 W65 W70	3.00kg 以上	1.00kg 以上		最小 500g 以上	
	W75 W80 以上	2.00kg 以上	0.75kg 以上		最小 400g 以上	

## 5. 表彰について

(1)8 位までの入賞者・チームは表彰を行なうので、競技終了後、直ちに本部表彰控室に集合のこと。

(高校・一般 100m に関して B 決勝を行うが、表彰の対象とはならない。)

小学生クロスカントリーリレー大会選考会の総合成績 3 位までに賞状を授与する。

マスターズは表彰を行わないので、3 位までの入賞者はマスターズ受付テントまで賞状を取りに来ること。

## 6. 練習場について

(1)補助競技場での練習は下記の注意を厳守のこと。

- 衝突事故防止の為、直走路の横断は禁止する。(曲走路より横断のこと)
- ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- 内側の 1・2 レーンは、長距離のペース走専門とする。
- 内側の 3～6 レーンは、流し等の専用とする。
- 外側の 7・8 レーンはハードル専用とする。
- リレーのバトンパス練習はバックストレートを使用する。
- 跳躍種目の練習は競技開始前にピットで行う。
- 投てき種目の練習は禁止する。
- 走路及びピットに立ち止まるとの指導等をしてはいけない。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- その他審判員の指示に従う。

## 7. 雨天練習場について

使用可能とするが衝突事故に注意すること。

## 8. その他

- T I C 及びマスターズの受付テントは正面玄関前に設置する。
- ゴミについては各自持ち帰ること。